資料２

ゼロカーボンシティの実現に向けて

グリーンIoTラボ・桑名

令和3年7月28日

桑名市ゼロカーボンシティ宣言

●桑名市

市民の命と暮らしを守り、「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを目指す

桑名市ゼロカーボンシティ宣言（R3.3.24）

2050年までに桑名市からの二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す

ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

- グリーン資産創造課新設
- できることから取り組みを
- グリーンIoTラボ・桑名の設立

グリーンIoTラボ・桑名

桑名市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の影響とみられる異常気象によって、毎年のように地球規模で甚大な災害などが発生しています。そのため、私たちの取巻く環境は大きく変化し、生命や財産を脅かす「気候危機」の状況にあります。

２０１５年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を２度未満とし、１．５度に抑えるように努力する」との目標が国際的に広く共有され、その実現には２０５０年までに温室効果ガスの実質排出をゼロにすることが必要とされました。

桑名市においては「本物力こそ、桑名力」を基本理念とし、「快適な暮らしを次世代にも誇れるまち」の実現のため、取り組んでいるところであり、SDGｓの取り組みと同様、「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを目指しています。

本市は、市民の命と暮らしを守り、未来を創る子どもたちの為に、再生可能エネルギーの地産地消を始め、従来の発想にとらわれない積極的な対策を行いながら、市の環境と経済の好循環を生みだす様々な環境施策を推進します。

２０５０年までに本市からの二酸化炭素の排出実質ゼロを目指し、ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民や民間事業者等と連携し取り組むことを、ここに宣言します。

令和３年３月24日

桑名市長　伊藤　徳宇

グリーン資産創造課新設

（Ｒ２年度まで）

財政課　公共施設マネジメント係

・公共施設マネジメント、財産管理、営繕に関する業務

（Ｒ３年４月から）

グリーン資産創造課　新設

・公共施設マネジメント、財産管理、営繕に関する業務
・ゼロカーボンに関する業務
・行政改革に関する業務

できることから取り組みを

【STEP１】　R3年度中期

・市役所本庁舎に地産の再生可能エネルギーを導入

【STEP2】　R3年度後期

・一般家庭（卒FIT）より電力を買い取り、公共施設に再生可能エネルギーを順次導入

・EV車をはじめとする次世代自動車へ公用車を計画的に転換

【STEP３】　順次（中長期）

・自由に電力を売買「だれでも、いつでも、どこでも」

・IoTを活用し、防災・防犯、学校、住宅、オフィス、交通、農業などをスマート化

・風力や水力など新しい再生可能エネルギーの地産地消化

環境と経済の好循環を生み出す社会の実現に向けて

ゼロカーボンシティ

グリーンIoTラボ・桑名

グリーンIoTラボ・桑名の設立

環境

国は2050年までにカーボン実質ゼロ宣言

地球温暖化の影響とみられる異常気象によって、
毎年のように地球規模で甚大な災害などが発生し、
私たちの取巻く環境は大きく変化し、生命や財産
を脅かす「気候危機」の状況となっている。
R2.10.26　カーボンニュートラル宣言

**CO2ゼロ、グリーン社会の実現、
再生可能エネルギーの活用**

再生可能エネルギーの定義
政令で太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・大気中の
熱その他の自然界に存する熱・バイオマス

桑名市ゼロカーボンシティ宣言

R3.3.24　桑名市ゼロカーボンシティ宣言

デジタル

国はIoT推進コンソーシアム設立　※

コロナ禍でのデジタル行政の遅れ
少子高齢化による人材不足
※産官学連携により設立。その下で IoT 推進ラボは、
成長性・先導性、波及性、社会性に基づき個別の
IoT プロジェクトを発掘・選定。大規模社会実装に
向けた規制改革・制度形成等の環境整備や総合支援

デジタル社会、DX、IOT,AIの活用

スマート自治体・コロナ対策
サービスの高度化・コスト削減・効率化

**桑名市デジタルファースト宣言
地方版IoTラボへ申請**

R3.2.5　桑名市デジタルファースト宣言
R3.2.18　経済産業省にIoTラボ提出

現状

手段・効果

グリーンIoTラボ・桑名

2050年に向けてIoTを活用しゼロカーボンシティの実現を目指す

グリーンIoTラボ・桑名

グリーンIoTラボ・桑名の設立

○IoT推進ラボとは

IoT推進ラボは、IoTやビッグデータ、AI等を活用し、地域課題の解決、地域経済の発展を推進していくため、経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が選定し、支援するものです

くわなIoT推進ラボは、令和３年４月16日に「地方版IoT推進ラボ」第六弾として選定されました

グリーンIoTラボ・桑名は、くわなIoT推進ラボの愛称です

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry
IPA Better Life with IT

選定証

桑名市IoT推進ラボ

貴ラボは地域経済の発展と推進に資するIoTプロジェクト創出のための取組と認められるためここに「地方版IoT推進ラボ」として選定されたことを証します

令和3年4月16日

経済産業大臣 梶山弘志

独立行政法人情報処理推進機構 理事長 富田達夫

グリーンIoTラボ・桑名の設立

○名称

くわなIoT推進ラボ協議会
（愛称：グリーンIoTラボ・桑名）

○設立日

令和３年５月17日

○目的

誰ひとり取り残さない持続可能なまちづくりを目指すため、産学官金の連携により、IoTを活用し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進する

○参加団体

ＮＴＮ株式会社（自然エネルギー商品事業部）・桑名商工会議所・桑名三重信用金庫・中部電力パワーグリッド株式会社桑名営業所・百五銀行・丸紅株式会社・丸紅新電力株式会社・三重大学・桑名市

グリーンIoTラボ・桑名の設立

○グリーンIoTラボ・桑名の事業内容

・IoTや新しい技術を活用し、環境と経済の好循環を生み出す社会の実現に向けた取組及びその調査、研究

・温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現に向けた取組

・脱炭素の普及啓発、脱炭素に関する動向の情報共有

○民間事業者等からの提案募集

・コラボ・ラボ桑名とグリーンIoTラボ・桑名が連携し、ワンストップ対話窓口として、ゼロカーボンシティに向けた取組について民間事業者等から提案を募集します

コラボ・ラボ桑名 × グリーンIoTラボ・桑名

グリーンIoTラボ・桑名

グリーンIoTラボ・桑名の設立

スマート防災・防犯
- 雨量に応じた排水機の自動運転や小水力発電
- 災害時の充電スポットの検索
- 街灯に人感センサーを設置し、子どもなどの遠隔確認や防犯対策

スマートスクール
- 学校にソーラーパネルを設置し、温度検知による熱中症対策を実施
- 学校用タブレットと連携し教育の現場で使用

スマートハウス
- 蓄電池の制御による電力効率化
- 電力使用による高齢者や子どもの見守り確認
- 荷物の自動受け取り、自動購入

スマートオフィス
- AIの活用による電力消費量や施設利用の予測
- 電源やスイッチの遠隔操作
- 施設予約管理

Maas
- EV車、EVスタンドの導入
- EV車による自動運転
- ネットで位置や乗車率の確認
- ネットでの乗車や充電スタンドの予約

スマート農業
- 農機具の自動化
- ビニールハウスによる自動栽培など

グリーンIoTラボ・桑名

グリーンIoTラボ・桑名　事務局

桑名市役所　総務部　グリーン資産創造課内

〒511-8601　三重県桑名市中央町2丁目37番地

TEL　0594-24-1229

FAX　0594-24-6312

E-mail　greenm@city.kuwana.lg.jp